

2026年3月2日
SOMPOケア株式会社

「ケアエール」事業の株式会社NTTデータへの承継について ～「ボイスタ！」との連携による更なる普及・発展に向けて～

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 鷲見 隆充、以下、「当社」）は、当社が開発・運営する介護者向けコミュニケーションアプリ「ケアエール」および介護事業者向けシステム「ケアエールPRO」に関わる事業（以下、ケアエール事業）を、2026年4月1日付で株式会社NTTデータ（東京都江東区、代表取締役社長 鈴木 正範、以下「NTTデータ」）へ譲渡することを決定し、事業譲渡契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 背景と目的

「ケアエール」は、ケアが必要な本人・家族のために、関係者が体調や日常の様子を共有し合うことで、円滑なチームケアを支える無料アプリです。介護事業者向けには「ケアエールPRO」を提供することで、日々の記録業務と関係者間の情報共有を一体化し、業務の効率化とケア品質の向上を同時に実現することが可能となります。2022年4月のリリース以来、アプリユーザーは13,000名以上に広がり、「2022年度グッドデザイン賞」受賞やデジタル庁の地方創生サービスカタログに掲載されるなど、デジタル技術を活用した地域課題解決のモデルケースとして実績を重ねてきました。

一方で、当社は2024年度にスタートした中期経営計画において、持続可能な成長に向けた事業ポートフォリオの見直しを進めてきました。その中で、ケアエール事業においては、IT・AIサービスに関する高度な開発・運営ノウハウと広範なネットワークを有する企業のもとで展開することが、より広く社会課題解決に資するものと判断いたしました。

2. 今後について

NTTデータは、音声で操作できるシニアにやさしいコミュニケーションサービス「ボイスタ！」などを通じ、介護人材不足や地域の見守り体制強化に取り組んできた実績を有しています。これらをケアエール事業と組み合わせることで、高齢者本人との日常的な対話を通じて得られる状態把握の情報と、ケアエールに蓄積される介護記録や日々の様子を連携させることが可能になります。

なお、本事業譲渡に伴いサービスの提供主体はNTTデータへ変更となりますが、現在提供しているサービスは従来通り継続してご利用いただけます。当社も引き続き本サービスの活用を継続することで、ユーザー企業の立場から、NTTデータの介護現場のDX推進と地域包括ケアシステムの深化に協力していきます。

以上

<本リリースに関するメディアからのお問い合わせ>

経営企画部広報室

電話：03-5715-5533

（受付時間：平日 9:00～18:00 ※年末年始を除く）

Eメール：sompocarepr@sompocare.com